

科目	数学A	学年	第1学年	開講	通年	必修	2 単位
----	-----	----	------	----	----	----	------

教科書:「最新 数学A」数研出版
副教材:「3ROUND 数学 I +A」数研出版

1 学習の到達目標

図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点				
							a	b	c		
前期	場合の数と確率	場合の数	集合	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	4	中間	○	○	○		
			集合の要素の個数				○	○	○		
			樹形図、和の法則、積の法則		5		○	○	○		
			順列				○	○	○		
			円順列と重複順列				○	○	○		
			組合せ				○	○	○		
		確率	確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	6	○		○	○			
					○		○	○			
				7	○		○	○			
					○		○	○			
前期 授業評価							○	○	○		
後期	場合の数と確率	確率	和事象の確率		9	中間	○	○	○		
			余事象の確率				○	○	○		
			独立な試行の確率		10		○	○	○		
			反復試行の確率				○	○	○		
			条件付き確率		○		○	○			
			期待値		○		○	○			
			三角形の性質		角の二等分線と比		三角形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	11	○	○	○
		三角形の外心・内心・重心		○	○				○		
		チェバの定理・メネラウスの定理		12	○			○	○		
					○			○	○		
		円の性質		円周角の定理	円の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。			1	○	○	○
				円に内接する四角形					○	○	○
			円と接線	2			○	○	○		
	接線と弦の作る角		○			○	○				
	方べきの定理		3	○		○	○				
	2つの円			○		○	○				
	作図		基本の作図	作図についての理解を深め、作図の各過程において平面図形のどの性質を用いているかを考察できるようにする。		2	○	○	○		
		いろいろな作図	○		○		○				
		空間図形	空間における直線と平面		空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	3	○	○	○		
			多面体				○	○	○		
	後期 授業評価							○	○	○	

3 評価の観点

・ 数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。
・ 事象を数学的に考察し，表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決できるかどうか。

4 評定の決め方

○知識・技能：定期考查
○思考・判断・表現：定期考查・レポート
○主体的に学習に取り組む態度：ワークショップ型授業・レポート